

## 病院の概要

- **病床数** 401床
- **医師数（研修医を除く）** 69名（うち指導医数 48名）
- **研修医数** 1年目 7名 2年目 7名
- **研修医の主な出身大学** 熊本大学・聖マリアンナ医科大学・埼玉医科大学・杏林大学・群馬大学・佐賀大学・東海大学・日本医科大学・筑波大学・札幌医科大学・島根大学・秋田大学
- **診療科** 内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 緩和ケア内科 神経内科 小児科 外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 精神科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 リウマチ科 臨床検査科 腎臓内科 血液内科 糖尿病内科 救急科 泌尿器科(人工透析) 緩和ケア外科
- **1日平均外来患者数** 1034名 ● **1日平均入院患者数** 287名
- **主な認定施設** 埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本消化器病学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設 他



## 研修プログラムの特色

初期研修は、まず総合内科で4か月間一貫した指導を受け、その後内科、救急（内科救急、整形外科救急を含む）、外科、小児科、産婦人科、地域医療の研修を行います。指導の体制は、屋根瓦方式をとっており、指導医の下、2～6年目の医師が日常的な相談にのり研修を行っています。さらに、看護師、医療相談員（SW）などのメディカルスタッフと一緒にカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添った医療を行う姿勢を身に付けます。



## プログラム 例 埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム（募集定員7人）

|      | 4月   | 5月 | 6月   | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月 | 3月   |
|------|------|----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|------|
| 1年目▶ | 総合内科 |    |      |     | 内 科 |     | 救 急 |     |     | 外 科 |    | 産婦人科 |
| 2年目▶ | 内 科  |    | 地域医療 | 小児科 |     | 選 択 |     |     |     |     |    |      |

※必修項目：内科（6か月）、救急（3か月）、地域医療（1か月）

病院が定める必修項目（上記項目に加えて）：内科（2か月）、外科（2か月）、小児科（2か月）、産婦人科（1か月）

選択：内科、救急、地域医療、麻酔科、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科

## 研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：35.8万円／月 2年次：39.8万円／月  
賞与年2回（2017年度実績3.0か月）
- 諸手当▶ 住宅手当、家族手当、当日直手当、年末年始勤務手当
- 保 険▶ 社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間▶ 平日8時30分～17時、土曜8時30分～13時
- 当 直▶ あり（4～5回／月）
- 休 暇▶ 4週6休、夏期休暇、年末年始休暇、特別休暇（結婚、忌引きなど）  
有給休暇（1年次：10日 2年次：12日）
- 宿 舎▶ なし（住宅手当【月額5万円まで支給】）
- その他▶ 常勤採用 学会・研修会参加補助 院内保育所（病児保育）あり

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・熊谷生協病院
- ・秩父生協病院
- ・浦和民主診療所
- ・大井協同診療所
- ・かすかべ生協診療所

## 当院の魅力

## Kyoudo PRIDE

埼玉県の南部地域において、地域医療に力を注ぎ、地域の方たちとの保健予防活動、救急医療（2017年救急車搬入台数4,053台）、慢性疾患医療、リハビリ、在宅医療まで一貫した総合的医療を患者さんの立場にたって実践しています。診療圏は川口市、戸田市、蕨市、さいたま市を中心とした急性期医療を担う中核病院です。当院では、内科を中心に救急、小児科、外科、産婦人科、選択7か月のローテーション研修を行い、総合的な力量を身につけます。地域に密着した診療所（法人内）での地域医療も含め、プライマリ・ケアをしっかりと学べます。また、疾病だけでなく、患者の生活背景や労働環境の問題にも目を向けた医療を行う医師養成を目指しています。

初期研修では、まず総合内科病棟から研修を開始し、基本的な診療スタイルを最初の4か月で身に付けます。バラエティに富んだ症例を経験し、症候から病気を捉えることができるようになります。また、高齢者は複数の疾患を持っていることが多く、総合的に診ることが必要です。主体的に治療を行うことで、基本的臨床能力を身に付けます。

当院の医局は、一つの部屋にすべての診療科が集まった総合医局です。そのため、診療科間の敷居が低く、研修医も各診療科へのコンサルテーションがしやすく、出身大学も様々で、医局全体で研修医を育てる雰囲気になっています。



### 研修責任者から

医師人生にとって初めの2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。

当院は開院以来、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。2011年に教育研修センター（SKYMET）を立ち上げ、生涯研修を見据えた全職種のための教育研修部門として、講演会や研修会を運営しています。初期研修から後期研修、その後の資格獲得やスキルアップなど、個々の医師のライフサイクルに合わせた援助が出来ると考えています。

熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。



研修管理委員長（病院長）  
増田 剛

### 先輩研修医から

研修医の仲の良さや助け合う雰囲気最大の魅力だと思います。それは指導医の先生方は勿論、他職種の方々の暖かさや優しさ、教育に対する熱心さが基盤にあるからだと思います。当然、仲の良さだけではなく、医師としてしっかりと成長出来るようなステップも用意されています。

研修医会、各種レクチャーや講演会、各科研修やER/当直研修の進め方・・・etc.挙げたらキリがありません。ただ間違いなく言えることは、私達一人一人を見て研修が進んでいくという点です。そのような環境の中で患者さんへの姿勢を身に付け、「ひと」を診る医師へ進むことが出来ます。全医師数は多くはありませんが、寧ろ私達の方でより良いものを創り上げていく事が出来る環境でもあります。

是非私達の中に飛び込んできてください。  
一緒にやりましょう！



研修医2年目  
松村 憲浩

### 女性医師支援コーナー

当院では常勤医師の約30%が女性医師であり、その多くの医師が出産・育児をしながら活躍しています。

また産婦人科、小児科、皮膚科の各部長は女性医師が担当しております。

短時間勤務制度（当直免除）や院内保育所、病児保育にも対応しながら、『誰もが安心して働ける職場』を目指して取り組んでいます。

#### 連絡先

### 埼玉協同病院

教育研修センター 市川大輔

〒333-0831 川口市木曽呂1317

TEL 048-296-5822(直通) FAX 048-296-8247

E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp

URL http://www.skymet.jp/

アクセス JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分

### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

●埼玉協同病院SKYMETホームページから見学申し込みフォームにてお申込みください。

毎月研修説明会を予定しておりますので、ぜひご参加ください（事前申込み）。